

市報 やまがた

2000 11/1 NO.1279

NOVEMBER

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

青少年と社会参加
人権が尊重される社会へ
平成12年度上半期財政公表



「青少年と地域社会との関わりを考える」

青少年と社会参加

次代を担う青少年が、心身ともに健やかにたくましく成長することは、市民共通の願いです。しかし、青少年の非行は戦後第4期のピークを迎えているといわれています。

青少年の健全育成は、家庭の問題であると同時に社会の問題でもあります。私たちが地域社会の一員としてできることではないのでしょうか。11月の全国青少年健全育成強調月間にあたり、地域社会での取り組みを取材しました。

戦後第4期のピークを迎えた 少年非行

今、少年非行は終戦後の混乱期、高度経済成長期、バブル期に次いで第4期のピークにあるといわれており、高校生、中学生の年代を中心に非行問題は深刻さを増しています。

山口地区高等学校生徒指導連絡協議会の会長校である県立山口中央高校の杉岡信義先生は、「高校生であれば、非行などの問題行動は増えているといえます。また、問題行動にいたる過程が、以前は何

らかの理由があったものが、今は理由もなく突発的な、その場だけの感情で起こしてしまうということが多くなっています。」と最近の傾向を話されます。

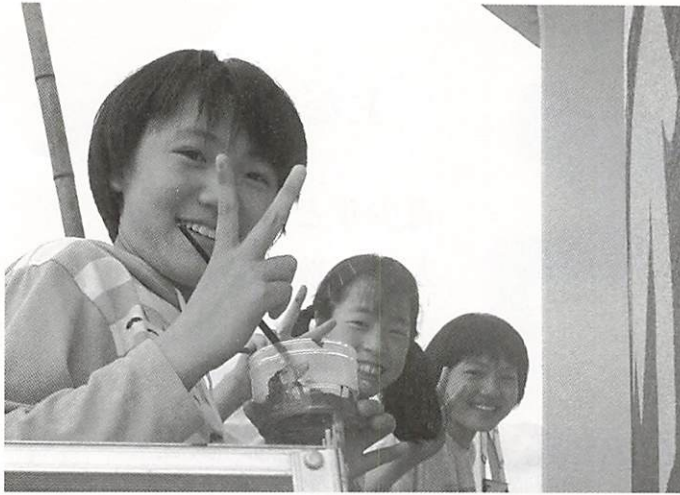
杉岡先生によると、非行の大半は万引きで、問題を起こした生徒の多くに罪の意識はほとんどなく、「他の人もやっているじゃないか」といった感覚だということです。

「最近の高校生を見てみると、友達関係が表面的になってきてい

る」と杉岡先生。いつも一緒にいて仲良しなので、何でも話せる親友かと思えば実はそうでない。「概して、人間関係を作るのが下手といえます。そして、人間関係に異常なほど神経を使っています。」

これらの原因について杉岡先生は、「幼い頃からの人とのつきあいの経験が不足していることが一因と思われる。感動体験を共有する経験や人間関係の失敗やトラブルといった経験の不足から、精神的に幼稚であったり、判断力、決断力に欠けるといったことを感じます。」

こうした問題行動は、家庭が経





大歳地区子ども会育成連絡協議会長 宮成真澄さん

地域での社会参加活動のひとつとして行われているのが子ども会を中心とした花いっぱい運動です。今年度の花壇コンクールでは、

思いやりの心育む 子ども会の花壇づくり

済的にも恵まれ、また、親が教育熱心であるにも関わらず起こっているということ。今は「うちの子に限って」という時代ではありません。誰でも問題行動を起こす可能性があるといえます。」

さらに、「これからは、個性を尊重する時代を迎えます。高校生にも自由な選択の幅が広がります。例えば、服装にしても、自分の進路にしても自らの判断で選択することが求められます。しかし、主体性や自主性が育っていなければ選択できません。こうした主体性は、幼い頃からの訓練によって身につくもので、日々の生活の中で

の多くの実体験こそが、判断力や主体性を育む場になるのではないかと思います。」

市では、「子どもは地域で育つ地域は子どもで結ばれる―出会い・ふれあい・ふるさとづくり―」をスローガンとして掲げ、家庭・学校・地域が一体となって地域ぐるみでの健全育成活動の推進に力を注いでいます。

特に、青少年が地域の中での役割を見つけ、自分の能力を発揮できる社会参加活動は、健全育成の柱のひとつとして重視しています。地域で行われているさまざまな取り組みについて取材しました。

小鯖地区と大歳地区がモデル賞に輝きました。3年連続の受賞となった大歳地区子ども会育成連絡協議会の宮成真澄会長は、「大歳地区では、各単位の子どもの会が中心となって花壇作りに取り組んでおり、子ども会活動の柱の一つとなっています。花壇づくりに熱心なのは、大歳地区の伝統。ただ、本音で言えば、前の年がよくやっているから自分たちの時に手を抜きたい

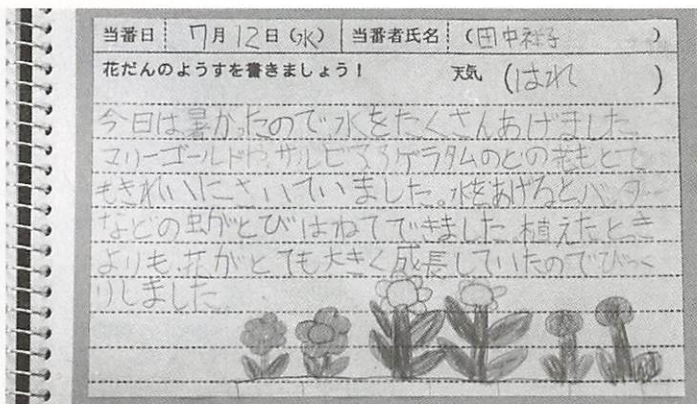
ということもいえます（笑）。」

そんな熱心な大歳地区でも花壇づくり活動は問題も抱えています。

「花壇作りは、子ども会の行事といえながら実際には大人がやっているという批判もあります。確かに、きれいな花を咲かせるためには、土づくりから始めて水やり、草取り、施肥など労力も知識も必要で、とても子どもだけでやれるものではありません。必然的に大人の出る幕が多くなります。しかし、大人と子どもがづらい作業を実体験として共有していくことにこの活動の意味があります。」

こうした活動は、目先のことで考えてしまうと「楽しくない」とか「不必要なもの」に感じてしまいがちです。しかし、青少年の健全育成は、10年、20年の単位で考えていく必要があると思います。労働体験は、机の上の学習では得られない、勘とか感覚とか要領といった生きる基本となるものを与えてくれると思います。

つらい作業を通じて、相手の気持ちや思いやるとか自分が役に立っているという自覚などの社会性を育む活動ととらえており、社会の変化に合わせてやり方は工夫しながら続けて行けたらよいと思います。」



中矢原子ども会の花壇日誌から

ボランティアの経験を将来の糧に

青少年の社会参加活動の受け皿のひとつとして注目されているのが、ボランティア活動です。今年で5回目を向かえた「アートふる山口」では、毎年高校生のボランティアを受け入れています。

高校生ボランティアを担当したふれあい部会長の岸田耕平さんは、「アートふる」では第1回目から高校生を受け入れています。これは、イベントの趣旨が、山口の魅力を知ってもらい、山口を好きになってもらうということから、高校生にもガイドをやってもらいたい

とで、山口の歴史や魅力を分かってもらい、自分たちのまちに誇りを持ってもらおうという思いからでした。」

今年、市内の5校から75人の応募があり、また、今回から高校生をガイド役に固定せず、自分た



アートふる山口ふれあい部会長 岸田耕平さん

ちの自主企画でイベントに参加できるかたちにされました。

「6月から約4か月間、研修や準備でも忙しい日々を送りましたが、イベントを成功させようという共通の思いでも盛り上がりました。参加してくれた高校生は「楽しかった」「またやりたい」という感想をくれました。「アートふる」でのボランティアの経験を彼らの将来に生かしてもらえたらと思います。」

高校生を受け入れた感想について岸田さんは、「やはり相手が高校生ということ、言葉遣いや態度などにもかなり気を使いました。また、高校生は夜の活動は難しいので、スタッフは日中仕事を休んで彼らの活動をお手伝いすることも多くありました。」



高校生ボランティアによるパフォーマンス

感じたのは、今の高校生はまるでタレント並みのスケジュールでも忙しいということです。大多数の高校生は、よほど強い意志がないと、社会参加の機会があっても出てこれないのではないかと思います。

高校生が参加しやすいしくみを社会全体で考えていかなければならないと思います。」

地域の特色を活かした活動で広がるふれあいの輪

市では、青少年の社会参加活動の促進を目的に、毎年各地区の青少年健全育成協議会などと連携して、「やまぐちっこーグレートアップ大作戦」爽・想・創」という事業を行っています。

昨年度は、小鯖、宮野、平川、

嘉川の4地区がこの事業に取り組まれました。小鯖地区で取り組まれた「正田山(しょうだやま)ペインティングアート」は、小鯖地区のシンボルのひとつ「正田山」の頂上にある貯水タンクに子どもたちが絵を描くという取り組みです。公民館だよりで公募



前列左から
原久美子さん
佐藤晃子さん
池田幸代さん
後列左から
古谷正洋さん
浦山裕史さん

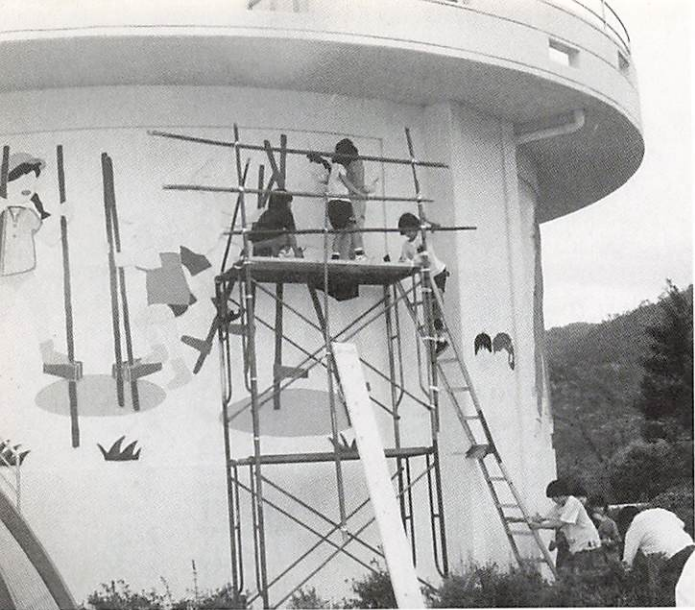
「アートふる山口」に参加した山口高校のみなさんに話を聞きました!

学校内で募集があったので応募しました。とても楽しかった。またやりたいです。劇と紙芝居をやったが、人前でやるのは初めて。お客さんの反応がすぐに返ってきてうれしかったです。もっと早くこんなイベントがあることを知っていたらよかった。

アートふるは、地域に密着したほのぼのとしたまつり。自分たちと同世代の人にもっと知らせてあげたいです。

大人のスタッフの人が、とても一生懸命なので心を打たれました。行事に参加すると「誰かが支えてくれているんだなあ」ということを改めて感じます。

■特集 青少年と社会参加



カラフルに変身する正田山の貯水タンク

したところ、地区内の12人の子どもたちが参加。図柄について参加者から募集し、小鯖らしいものというところで、鳴滝、竹の子、天然記念物のノハナシヨウブ、桜などが選ばれました。

小鯖地区青少年健全育成協議会長の小野基之さんは、「5月から始めて秋口まで、長期間にわたる作業で子どもたちは大変だったと思います。でも、それだけに達成感もひとしおだったのでは。」

また、この活動に、青年団や元の高校生、自治会や青少協の関係者などいろいろな人が関わることとで、子どもたちと地域の人々がふれあえたことが大きな成果だ



小鯖地区青少年健全育成協議会長 小野基之さん

つたと思います。」
小鯖地区のあちこちから見ることのできる正田山。殺風景だった貯水タンクもカラフルになり、地区の人々にもなかなか好評ということです。

紹介してきたように、各地域でいろいろな形で青少年の社会参加の取り組みが行われています。また、最近では、青少年の職場体験の受け入れに協力する事業所や学校ボランティアとしての協力者も増えています。

青少年の社会参加活動は、いろいろな社会人と接し、家庭や学校ではなかなかできない体験をすることで、社会に目を向け、人間としての幅を広げてくれる活動といえます。家庭、学校、地域がそれぞれの特性を発揮することで、豊かな人間性が育っていきます。
地域の一員として、子どもたちとふれあう場を提供していきたいものです。

秋季全国火災予防運動

火をつけたあなたの責任 最後まで

〔平成12年度全国統一防火標語〕

寒さが増すにつれ、火を使うことが多くなってきました。便利で、大切な火ですが、取り扱いを誤ると大変なことになります。11月9日から15日までは秋季全国火災予防運動期間です。火災の発生を防止して、死傷事故や財産の損失を防ぎましょう。

山口市の火災状況

今年の山口市の火災は、9月末までに50件発生しています。昨年の同時期（44件）を上回っています。主な出火原因は、放火（放火の疑いを含む）が11件、たき火、草焼の不注意が9件、たばこが5件、こんろ（天ぷら油火災を含む）が4件になっています。

火災予防は、身近なところから

出火の原因の中には、テレビや冷蔵庫のプラグが何年も差し込まれ、コンセントにたまったほこりが原因で火災になることもあります。コンセントの定期的な掃除やプラグが曲がっていないか、コードがぶれていないかなど身近なところから点検をしましょう。

火災は、地震などの天災とは違い、注意をすれば未然に防ぐことができます。

火の用心7つのポイント

- ①家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④風の強い時は、たき火をしない。
- ⑤子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- ⑥電気器具は、正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。



「私たちは、共に生きています。」

人権が尊重される社会へ

私たちには、人間が人間らしく生きていくための、誰からも侵されることのない権利が与えられています。一方で、社会には、偏見や不合理などにより、その権利を侵害されている人がいます。共に生きている、すべての人の人権が尊重され、あらゆる差別がなくなるよう、人権について正しい理解をしましょう。

かけがえのない権利

人権とは、誰もが生まれながらにもっている、かけがえのない権利で、人間が人間らしく生きていくための、誰からも侵されることのない基本的権利です。

私たちは、「健康でありたい」「しっかり教育を受けて能力を十分のばしたい」などさまざまな願いを持っていきます。このような人間として当然の願いは、侵すことのできない基本的な人権として日本国憲法で国民のすべてに、現在および将来にわたって保障されています。

人権が尊重される社会へ

私たちは、自分の幸せや豊かさ

を追求することに気を取られ、他の人と共に生活をしていることを忘れ、偏見や不合理な理由で、気づかないうちに他の人の人権を侵していることがあります。

現在、わが国では、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者等、刑を終えて出所した人の人権問題が重要課題として取り上げられています。

「私たちは、人間としてすべての権利を大自然から与えられています。大切なのは、すべて与えられているけど、必ず他人とセットになっていること、『共に生きていく』ということを、いつも考えないとイケません。」と語る伊藤

美代子さんは、人権擁護委員として、多くの市民から人権に関する相談を受けています。

そして、「私たちは、もっと人権感覚を磨かないといけない。自分の人権も、相手の人権も大切に守っていかねばいけない。」と、人権への理解を訴えています。

21世紀は、「人権の世紀」と呼ばれています。すべての人の人権が尊重され、あらゆる差別がなくなるよう、さまざまな人権問題について正しく理解し、一人ひとりが大切にされる住みよい社会を築いていきましょう。



人権擁護委員
伊藤美代子さん

人権擁護委員の役割

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間のボランティアの人たちです。講演会や座談会を開催し

たり、法務局の人権相談所や自宅などで、私たちからの人権相談や身の上相談を受けるなど、積極的な活動を行っています。私たちの一番身近な相談相手です。市内にも、10名の委員が配置されています。お気軽にご相談ください。

人権擁護委員名簿（敬称略・順不同）			
末永 汎本	753-0079	糸米1-3-31	922-0415
伊藤美代子*	753-0303	仁保下郷186	929-1303
三原 幸一	753-0214	大内御堀2143-30	925-5448
内田 廣	747-1221	鑄銭司1895	986-2559
西村 良郎	754-0894	佐山1817	989-3197
塚田 宏之	753-0083	後河原1	923-2560
大野 英雄	753-0871	朝田1030-13	925-2145
松浦 一則	753-0811	吉敷2137	922-5426
井坂 尚子	753-0001	宮野上2949-8	924-1781
伊藤ルリ子	753-0213	上小鯖1864	927-0744

※子どもの人権専門委員でもあります。

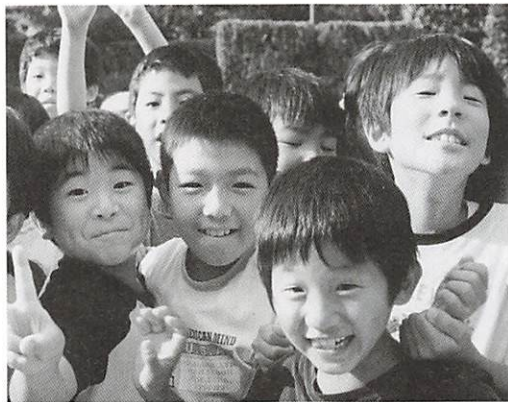
子どもの人権専門委員

平成6年度からは、いじめ、体罰、不登校、親からの虐待などの子どもをめぐる人権問題にも適切に対処するため、人権擁護委員の中から子どもの人権問題を専門に取り扱う「子どもの人権専門委員」が設けられています。

子どもの人権専門委員でもある伊藤さんは、「子どもは、多かれ少なかれいろいろな悩みを抱えている。今の社会は、それをなかな

か表現できない環境にある。友達から無視された、言葉の暴力を受けたなど、一人で悩まないで、早めに勇気をもって相談してほしい。」と呼びかけています。

また、「子どもは、大人の保護下にあるけれど、子どもも大人と同じように人権の主体（主人公）として尊重されなければいけません。」と伊藤さんは、切実に訴えています。



人権についての相談は、人権擁護委員のほかにも、いろいろな相談窓口が開設されています。心配ごとや困りごとについてお気軽にご相談ください。

【常設相談所】

・ 山口地方方法務局人権擁護課 (☎ 922-2295)

・ 子どもの人権110番 (山口地方方法務局 ☎ 920-1234)

【人権関係等相談窓口】

項目	相談・連絡先	
子ども	おやこほっとライン (県中央児童相談所)	932-3939
青少年	ふれあいテレホン (県ふれあい教育センター)	987-1240
いじめ等	ヤングテレホンやまぐち (県警少年課)	925-5150
いじめ等	いじめ110番 (県教委指導課)	923-2264
いじめ等	いじめ相談専用電話 (県ふれあい教育センター)	987-1202
女性	山口女性なやみごと電話相談 (県女性相談所)	925-7354
福祉全般	福祉総合相談支援センター (県社会福祉会館内)	922-1211
障害者	障害者ホットライン (県障害者社会参加推進センター)	928-5580
就職 (障害者)	ハローワーク山口	922-0043
就職 (女性)	東部女性就業センター	0834-28-6102
就職 (女性)	西部女性就業センター	0832-48-0475
防犯 (女性)	レディース・サポート110 (県警)	932-7830

【特設相談所】

また、第52回人権週間 (12月4日から10日) に関係して、人権相談所が開設されます。

- ◇日時 12月13日 (水) 午後1時から4時、12月27日 (水) 午後1時から4時
- ◇場所 山口市福祉センター (下 豎小路254)

◇問い合わせ 山口地方方法務局人権擁護課 (☎ 922-2295)

11月11日から20日は 同和問題啓発強調旬間

昭和40年の同和对策審議会の答申以来、同和問題は、憲法によって保障された基本的人権にかかる重要課題として、早急な解決が求められてきました。

国や地方公共団体のいろいろな取り組みにより、実態的な差別は解消に向けて進み、また、同和教育や啓発活動により、市民の同和問題に対する理解も深まってきており、成果が着実に表れています。

11月11日から20日は同和問題啓発推進強調旬間です。あらためて、同和問題に対する理解と認識を深め、同和問題の真の解決と人権意識の向上をはかりましょう。

市では、同和問題啓発推進強調旬間にちなんで、市内の中学生にポスターの作品を募集したところ、総数78点の応募がありました。審査の結果は、次のとおりです。(順不同、敬称略)

- 【特選】 林 由佳 (大内中3年)
- 【入選】 西村綾香 (大殿中2年)
- 尾崎 美 (湯田中2年)
- 藤田愛理 (鴻南中2年)
- 栗原 悠 (鴻南中1年)



林 由佳さん

みんな平等で明るい未来に!!

人は、身分に関係なく生まれたときから人間らしく生きる権利を持っていて、みんな平等です。これを「てんびん」を用いて表現しました。オレンジと黄色のグラデーションは、温かさを表現しました。

私の周りでは、差別はないけれども、けんかなどを見るとやめたらいののと思います。将来は、みんな平等で明るい未来になればいいと思います。



林さんの作品 (特選)

山口市教育委員会

藏重恵昭氏が教育委員に就任
井上洋教育長が再任

10月5日、光永惇氏と井上洋氏の教育委員任期満了に伴い、新たに藏重恵昭氏が任命、井上洋氏が再任されました。委員の任期は4年で、平成16年10月4日までです。また、同日、井上洋教育長の任期満了に伴う教育長の任命について、山口市教育委員会（臨時会）が開催され、井上洋教育長が再任されました。



井上洋 教育長



藏重恵昭 教育委員

山口市教育委員

委員長	真庭 宗雄
委員長職務代理	伊藤美代子
委員	西山 京子
委員	藏重 恵昭
教育長	井上 洋

第43回山口市美術展覧会



10月15日までC・S赤れんがで行われた山口市美術展覧会

第43回山口市美術展覧会の表彰式が9月30日、C・S赤れんがで行われました。今回の応募総数は208点で、入選作品は160点、入賞作品は

教育委員会とは・・・

教育委員会は、▼学校、公民館などの教育機関の管理▼児童・生徒の就学等に関すること▼青少年教育や婦人教育などの社会教育に関すること▼体育に関すること▼文化財の保護に関する事務などを行います。これらの事務は、委員会の会議で、教育行政の専門家である教育委員によって処理・決定されます。しかし、広範囲にわたる教育行政を円滑に行っていく

ため、教育委員会には、「教育長」がおかれ、事務処理の多くが委任されています。

山口市教育委員会では、学校教育、家庭教育、社会教育がそれぞれの機能を發揮し、相互の連携をより密にすることで、▼教育・文化の創造をめざした環境づくり▼活力ある豊かな学びの実現をめざした活動づくり▼生涯学習の充実をめざした体制づくり努めています。

21点でした。16ページ「市美展さんぽ」に、大賞・準大賞・赤れんが賞を受賞された方の作品とコメントを掲載しています。

奨励賞受賞者（敬称略）

- 《日本画》 柳良幸昌（吉田）
- 《洋画》 神成佑子（宮野下）
- 井上広之（吉敷）
- 《写真》 植木三郎（大内御堀）
- 輪田重昭（黒川）
- 山尾正美（吉敷）
- 岩成峰（朝田）
- 井上史雄（大内矢田）

審査員（敬称略）

- ▽緒方一美（日本画）
- ▽武田雅行（洋画）
- ▽栗林和彦（写真）
- ▽田辺武（彫刻）
- ▽石村周寶（書）
- ▽大和保男（工芸）
- ▽安間寛行（デザイン）

- 《彫刻》 竹重康弘（黒川）
- 水野邦子（富田原町）
- 《書》 三戸洋子（陶）
- 錨辰子（陶）
- 《工芸》 高杉紀美子（下小鯖）
- 林順（吉敷）
- 池田孝（仁保上郷）
- 長廣裕夫（名田島）
- 角屋敏子（中園町）

漏水チェックで

水資源の節約

●道路上の漏水

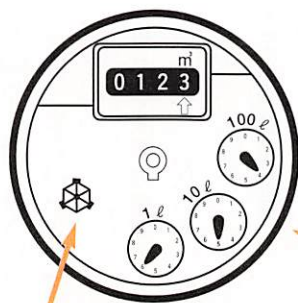
市内では、1日平均2件の路上漏水が発生しています。市水道局では、漏水防止のため道路パトロールによる管路点検を行い、日夜早期発見修理を心掛けています。漏水は水の無駄というだけでなく、道路の陥没や水圧の不足により蛇口からの水が出にくくなったり、皆さんの日常生活に影響を及ぼす危険性があります。

●宅内の漏水

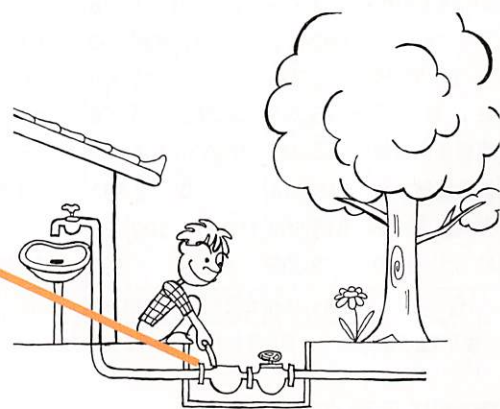
このような場合、工務課お客様サービス担当までご連絡ください。

《水道メーターを調べてみましょう》

- 1 家中の蛇口を全部閉めます。
- 2 メーターボックスのふたを開け、次にメーターのふたを開け、パイロットマークを調べます。もし、少しでも回っていたらどこかで漏水しています。
- 3 パイロットマークが回っていないければメーターより内側(家側)の漏水はありません。



パイロットマーク



《漏水の発生しやすい箇所を調べてみましょう》

水道メーター付近、水洗トイレ、風呂(特に給湯管)、電気・太陽熱温水器、管の接合部分などが漏水を起こしやすい箇所です。漏水箇所がわかったら、市の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

※ボイラー、温水器、給湯設備等が原因の場合は、それぞれの専門業者にご相談ください。

※漏水箇所がわからない場合、水道局までご連絡ください。漏水箇所を調査します。

※不明な点は、お気軽に水道局までお問い合わせください。

◇お問い合わせ 市水道局工務課
お客様サービス担当

☎933-6671

中也の原点は短歌

平成12年度企画展
「短歌～詩世界への出発点」開催

近代詩人・中原中也。少年時代、彼が最初に出会った表現方法は詩ではなく「短歌」でした。文学に親しんだ両親との家庭生活の中で、中也は小学生の頃から短歌を書き始め、山口師範学校附属小学校6年生のときに、雑誌『婦人画報』に投稿し、掲載されました。

山口中学時代、当時の山口県の地方紙「防長新聞」歌壇欄にしばしば中也の短歌が登場します。歌壇欄の常連投稿者であった友人たちに出会い、活動の範囲は広がっていきました。大正11年には、短歌会で知り合った2人と共著歌集『末黒野』を出版しています。

そんな中也の詩人としての原点に、皆さんも触れてみませんか。

○日時 11月1日(水)～26日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

※毎週月曜日は休館

○入場料(消費税は別途)

一般300円、大学生200円、

小・中・高校生150円

※団体は20名以上各50円引

○問い合わせ

中原中也記念館 ☎932-6430

中也と短歌仲間2人による共著歌集『末黒野』

末黒野
1932

平成12年度上半期

財政公表

市の予算がどのように執行されているかをみなさんにお知らせするため、平成12年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

◆一般会計

一般会計は当初予算437億3000万円です。スタートしましたが、その後、8億4803万円の追加補正を行い、9月末現在で総額445億7803万円となっています。

追加した補正予算の主な内容は、市民会館改修事業費に1億5500万円、県道山口阿知須宇部

一般会計の収支状況（9月末現在・単位：万円）【表1】

入		出	
項目	予算現額 収入済率(%)	項目	予算現額 執行済率(%)
市税	1,882,863 54.1	議会費	35,409 47.0
地方譲与税	40,000 30.0	総務費	726,836 40.9
利子割交付金	50,000 43.1	民生費	898,609 35.7
地方消費税交付金	134,000 58.1	衛生費	445,752 62.6
ゴルフ場利用税交付金	4,200 32.6	労働費	10,223 89.6
自動車取得税交付金	31,000 30.5	農林水産業費	226,660 34.1
地方特別交付金	74,600 90.1	商工費	178,679 54.8
地方交付税	668,000 73.5	土木費	1,021,399 38.4
分担金および負担金	56,713 38.6	消防費	129,251 91.4
使用料および手数料	60,564 49.3	教育費	514,481 60.9
国庫支出金	401,667 13.8	災害復旧費	34,147 43.1
県支出金	263,412 19.3	公債費	504,980 47.6
財産収入	42,574 6.9	予備費	7,000 0.0
寄附金	561 16.4		
繰入金	95,969 0.0		
市債	661,940 7.4		
その他	265,363 48.3		
合計	4,733,426 43.0	合計	4,733,426 46.0

※歳入歳出予算現額には、繰越額27億5,623万円を含んでいます。

特別会計の収支状況（9月末現在・単位：万円）【表2】

会計	予算現額	収入済額	執行済額	執行済率(%)
国民健康保険	840,890	267,342	488,128	58.0
老人保健	1,404,861	529,498	575,942	41.0
同和对策資金貸付	3,279	1,773	1,178	35.9
下水道	692,632	90,857	438,598	63.3
土地取得	23,755	0	11,960	50.3
駐車場	5,240	2,388	3,198	61.0
農業集落排水	155,047	16,000	105,442	68.0
漁業集落排水	16,304	0	2,293	14.1
介護保険	516,552	112,876	190,967	37.0
特別林野	2,639	1,038	599	22.7
合計	3,661,199	1,021,772	1,818,305	49.7

※歳入歳出予算現額には、繰越額6億8,976万円を含んでいます。

市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	350万2,588.07㎡
建物	32万4,635.14㎡
山林	6,459.01ha
立木	80万8,850㎡
有価証券	9,360万円
出資による権利	6億5,848万2,230円
債権	3,104.09㎡
債権	11億6,475万4,834円
基金	127億4,282万124円
土地	950.69㎡

市債の状況

区分	9月末現在高
一般会計	486億9,318万円
特別会計	324億1,946万円
合計	811億1,264万円

市有財産、市債の9月末残高は左表のとおりです。

線関連整備事業費に1億2000万円、香山公園整備事業費に88

50万円、国の公共事業等予備費の使用に伴う山口漁港海岸保全施設整備事業費に6100万円などです。

9月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表1のとおりで、収入済率43・0パーセント、執行済率46・0パーセントとなっています。また、上半期に実施または着手

した事業のうち、主なものは次のとおりです。

- ・やまぐち情報文化都市づくり
- ・中国文化施設の基本設計および実施設計など
- ・中心市街地の活性化
- ・市街地再開発事業等に係る基本計画の策定・調査など
- ・教育施設の充実
- ・小鯖小学校プール改築事業、鴻南中学校給食室新築事業など
- ・長寿社会対策、福祉の充実
- ・基幹型在宅介護支援センターの運営、生さがいデイサービスの実施など
- ・農林水産業の振興
- ・道の駅「仁保の郷」整備事業、林道大平線開設工事など
- ・生活基盤の整備

◆特別会計

- ・生活道路、公園、土地区画整理、ごみ集積施設の整備など
- ・住宅の整備
- ・中国アパルト建設事業など
- ・体育施設の充実
- ・山口南総合センター屋外体育施設照明設備等整備事業、やまぐちリフレッシュパーク設備改修事業など

特別会計の収支状況は表2のとおりです。今年度4月から介護保険制度が始まりました。また、下水道事業では、大殿、白石、湯田、大内、宮野、吉敷、平川、大歳の一部を整備しています。さらに、農業集落排水事業では、仁保で整備を進めています。



苦情が多発しています！
磁気活水器の訪問販売



奥様A 最近、磁気活水器の訪問販売の苦情が多いんだって。「水質点検をします」とか「一斉に取り付けることになった」と言っ
てやって来る訪問販売は危ないらしいの。お宅も気を付けた方がいいわよ。

奥様B そうそう！うちのお隣さん、「水質の変化が実感できる」「太陽熱温水器がきれいになる」って言われて、磁石で水質改善をする装置を契約したんだけど、1か月経っても水はカルキ臭いし、太陽熱温水器のお風呂には相変わらず赤サビが出るので大変だったみたいよ。

奥様A そうだったの。誰でもおいしくて安全なお水で生活したいものね。でも、我が家の水が高いお金を払って改善する必要があるか、よく考えて契約は慎重にしなきゃいけないわね。

奥様B それからセールスの説明に迷ったらその場で契約しないで周りの人に相談することも大切よ。お互い気を付けましょ。

○問い合わせ 市地域生活課
消費生活担当
☎934-2764

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな事業を行っています。例えば、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育の振興など、その活動は幅広い分野に渡っています。これらの経費は税によって賄われています。

税はこのように私たちが生活の向上と安定を願う限りどうしても負担しなければならぬ、共同社会を維持する「会費」であると言えます。

ぜひこの機会に、税について考えてみましょう。



税を知る週間

平成12年11月11日～17日

山口税務署 (☎922-1340)
市課税課市民税担当 (☎934-2735)

知っていますか？市税のゆくえ

○市税の総額（平成11年度決算見込） 約188億円

主な内訳	市の全般的な管理経費など	16.3%
	社会福祉など	15.9%
	道路や公園整備など	15.9%
	学校、社会教育など	13.2%
	健康、衛生的なまちづくりなど	12.6%
	市債の償還など	11.0%
	経済の振興など	5.8%



健康保険加入の届出はお早めに！

Q1 会社を退職して、健康保険がありません。どうしたらいいですか？

A1 それまでの健康保険を任意継続されたり家族が加入している健康保険の扶養に入らなければ、国民健康保険に加入していただく必要があります。退職後、14日以内に、市保険年金課、または最寄りの出張所で加入の手続きをしてください。

○必要なもの 退職を証明するもの・印鑑・同一世帯で、すでに

国保加入者がいればその保険証

Q2 半年前に会社を退職したあと、国保に加入するのを忘れていました。今から届け出をした場合、保険料は届け出以降の分からいいですか？

A2 いいえ。届け出が遅れても、国保の資格は会社を退職した翌日から発生しますので、保険料もその時までさかのぼって納めることとなります。また、届け出があまり遅れると、それまでの医療費は全額自己負担になってしまいます。届け出はお早めに。

◇問い合わせ 市保険年金課

(☎934-2801)



地域の仲間と 全国優勝を

とくながよしひろ 徳永義浩さん

—二島バレーボール倶楽部監督—

地域の仲間と運動をする

徳永義浩さんは、11月に東京で開かれる第49回全国青年大会に山口県代表として出場する二島バレーボール倶楽部の監督。

高校時代に3年間バレーボールに熱中。20代は、高校時代の仲間とチームを結成。30歳の時には、西京バレーボール倶楽部の結成に参加。「ここで、効果的な練習方法と指導方法を勉強しました。」と徳永さん。

「二島バレーボール倶楽部は、『同じ地区に住む仲間と一緒に運動をしよう』と、昭和61年に結成されたものです。平成2年に友人に誘われ参加し、平成4年から監督を務めています。」

監督就任は、「ただ年齢が最高になったから」と、気軽に話されます。近郊で開かれる大会に毎年10回程度参加し、常に上位の成績を上げられています。

どこにも負けないチームワーク

二島バレーボール倶楽部は、現在男性選手20人、女性マネージャー4人で活動しています。練習は毎週土曜の夜に、二島小学校体育館で行われています。



島根県出身。二島バレーボール倶楽部監督。全国青年大会で優勝を目指す。秋穂二島地区在住、40歳。

「それぞれ仕事をもっていますので、全員が揃って練習するのは難しい状況です。それでも、地区の行事に参加したり手伝いをしていますので、チームワークはどこにも負けません。まとまりのいいチームです。」

「監督としてチームの指導は、『負けて泣くより、勝って泣け』をモットーに、厳しい練習をしますが、選手はのびのびと練習しています。」また、「選手には広い視野を持つてほしい。いろんな経験をすることが大切だと思います。他で得たことを持ち帰り、チーム強化に役立てることも大切なこと。」と話されます。

全国優勝を持ち帰りたい

「監督を引き受けた時、『山口市地区対抗男子バレーボール大会で優勝すること』、『地域から、全国大会に出場し優勝すること』を目標に掲げました。この全国青年大会を平成8年に知り、翌年の大会で3位になりました。」

今回の大会には、全国から各県代表が集まります。「これまでの練習の成果を発揮し、全国優勝を持ち帰りたい。また、この機会に、自然に生まれ住みやすい秋穂二島、そして山口市を全国にアピールしていきたいと思います。」

山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

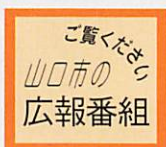
午前7時50分(水・土)、午後12時50分(火・金)、午後6時20分(月・木・日)、午後10時20分(水・土)から20分間放送。

○1日～15日 「いつまでも健康であるために」

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

毎週日曜日、午前11時40分から放送。

○5日・12日 「道の駅『仁保の郷』」



11月の放送
予定です

やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

毎週水曜日、午後5時30分頃から「5時からワイド」の1コーナーで放送。

- 1日 「プラスチック製と紙製の容器包装の分別収集」
- 8日 「中原中也の軌跡Ⅵ 短歌～詩世界への出発点」
- 15日 「田んぼの学校」
- 22日 技「ういろう」
- 29日 「栗林和彦のふるさと発見」



山口市リサイクルプラザ

☎ 927-7122 ☎ 927-7133

http://www.urban.ne.jp/home/ymgplaza

開館時間 午前9時から午後5時

資源ごみの受け付け

午前9時から午後4時30分

月曜と祝休日の翌日はお休みです

その他プラスチック製 容器包装の分別!?(その1)

私たちの生活で、たくさん使われているプラスチック製品。来年の4月からは、「その他プラスチック製容器包装」についても分別収集が始まります。プラスチックには、分別収集に出せるもの、そうでないものなど、紛らわしいものがあります。今回は、ごみの中に、その他プラスチック製容器包装がどれくらい含まれているか調べてみましょう。

その他プラスチック製の容器包装ってなに?

来年の4月から、紙製の容器包装と一緒にその他プラスチック製容器包装の分別収集が始まります。「その他プラスチック製の容器包装」は、ペットボトル以外の食品、日用品などのプラスチックの容器包装のことをいいます。

プラスチック製容器包装の多さにびっくり!!

私たちは、商品と一緒にたくさんのプラスチックの容器、包装を買っています。例として、お弁当、デザート、お菓子、ジュースの4種類を買ってみました。

すると、①お弁当のケース(プラスチック)、②お弁当ケースを包んだラップ、③レジ袋、④スナック菓子の袋、⑤ペットボトル、⑥ペットボトルのふた、⑦スプーン(プラスチック)、⑧スプーンの入れ物(ビニール)、⑨しょう油の袋(ビニール)、⑩デザートの容器(プラスチック)、⑪デザートのふた(表面がプラスチック)、⑫割り箸の入れ物(紙)、⑬割り箸、⑭仕切りの14種類のごみがありました。来年の4月からは、これらを、紙製、その他プラスチック製容器包装にきちんと分別しなければいけません。



14種類を分別すると次のようになります。その他プラスチック製容器包装は、①②③④⑥⑧⑨⑩⑪。紙製容器包装は、⑫。ペットボトルは、⑤。燃えるごみの日に出すものは、⑦⑬⑭。とにかく、その他プラスチック製容器包装の多さに驚かされます。

面倒でも決まりを守って分別を!!

その他プラスチック製容器包装が再利用されれば、ごみの量が減るのは、確実です。面倒でも決まりを守って分別に出しましょう。また、なるべく無駄な包装のないものを選んで買うようにしましょう。(企画 やまぐちエコ倶楽部)

■11月のリサイクルアイデア講座 (午前10時から正午)

さき織り	2 (木) 9 (木) 16 (木) 30 (木)	モラの手法を使った小物作り	21 (火)
私服のリフォーム	7 (火) 21 (火)	布遊び	21 (火) 28 (火)
パッチワーク	8 (水) 15 (水) 25 (土) 29 (水)	カントリードール	22 (水) 29 (水)
洋服のリフォーム	9 (木) 16 (木) 30 (木)	トールペインティング	1 (水) 15 (水) 29 (水)
押し花で楽しむリサイクルアート	9 (木)		※募集人数 20名
ネクタイでベスト、小物作り	10 (金) 17 (金)		※上記のうち2回受講できる方
クリスマスリースづくり	30 (土)		※受講希望の方は、リサイクルプラザまで申し込んでください。
毛糸のリサイクル	10 (金) 17 (金)		
牛乳パックで動くおもちゃ作り	11 (土)		※カントリードールとトールペインティングは、午前9時30分から正午
牛乳パックでくす入れ作り	25 (土)		※パッチワーク25 (土) は午後1時から3時
フラワーアレンジメント	11 (土) 18 (土)		
カントリー小物	18 (土) 25 (土)		

■11月のフリーマーケット

(おもちゃの病院もあります)

◇日時 11月12日(日)

午前9時から午後3時

◇場所 リサイクルプラザ前庭

◇出店共益費 300円(1区画)

※12月のフリーマーケット(12月10日(日))の出店の申込みは、11月15日(水)から受け付けます。

■リサイクル工房

修理、修繕受け付けます。

お知らせ

平成12年度山口市職員採用試験

- ◇受付期間 11月1日(水)～15日(水・必着)
 - ◇試験区分 技能
 - ◇試験職種 環境衛生整備員
 - ◇採用予定人員 5人程度
 - ◇受験資格 昭和54年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた人で、中学校卒業以上の学歴を有する人
 - ◇第1次試験日時 11月26日(日)
 - ◇第1次試験場所 山口市役所
 - ◇受験申込書の請求 受験申込書は市職員課、市役所受付または各出張所にあります。郵送で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先明記の返信用封筒(角形2号へA4版)に120円切手を貼って同封してください。
 - ◇申し込み 市職員課(〒753-18650 亀山町2-1 ☎934-2727)
- 山口市都市計画マスタープラン**
ラン(素案)全体説明会
山口市都市計画マスタープラン

とは、都市計画に関する山口市のまちづくりの将来像を描き、その実現の方向性を示す方針です。

9月に開催した地域別説明会に引き続き、市全域を対象とした全体説明会を再度開催し、市民の皆さんからまちづくりへの意見をうかがいます。ぜひご参加ください。

◇日時 11月11日(土) 午後6時から

◇場所 市役所3階第10会議室

◇問い合わせ 市都市計画課(☎934-2839)

老齢福祉年金を受給していただける方へ

平成12年12月期の老齢福祉年金の支払いは、11月10日(金)から開始されます。証書と届出印をお持ちになって、指定の郵便局でお受け取りください。

なお、この度は証書の提出が不要です。平成13年4月期を受け取られるまで、ご本人に保管していただくようになります。

◇問い合わせ 市保険年金課(☎934-2802)

のんびり行こう山口市の旅
「親子ふれあいトレイル」

◇日時 12月9日(土) 午前8時～午後8時

◇乗降駅 山口、小郡

◇行程(予定) 益田駅→山口駅(午前10時)→小郡駅→厚狭駅

↓長門市駅→仙崎観光(昼食、遊覧船、散策)→長門市駅→益田駅→山口駅→小郡駅

※臨時列車のため、時刻に変更が生じる場合があります。その場合は、おつて連絡します。

◇対象 小学生とその保護者(1組2人～4人) 90人(応募者多数の場合抽選)

◇参加費 大人1人2000円/小学生1人1000円

◇申し込み 11月17日(金・必着)までに、往復はがき(〒住所、氏名、年齢、学年、電話番号、乗降駅を記入)で、市観光課(〒753-18650 亀山町2-1 ☎934-2810)へ

「大内氏関連町並遺跡第34次調査」現地説明会

大内氏館跡周辺の室町時代を中心とした遺跡の説明会です。駐車場は、八坂神社向かいの大型バス専用駐車場をご利用ください。

◇日時 11月11日(土) 午後1時～3時(雨天順延)

◇場所 野田(今八幡宮の南側)

◇問い合わせ 市文化財保護課(☎920-4111)



声 山口循環バスが走っていますが、南部はとても不便です。バスを利用している友達は足が悪く、長浜経由を利用していますが、本数が少なく困っています。

声 南部に住んでいるので、本当に車は必需品。今や車のない生活は考えられない。たまにバスに乗るとあまりの料金の高さにびびります。しかし、車で行けば駐車場に困ったりもするし。改善されるといいな。

声 山口市の交通の不便さには半ばあきらめ感をもっていましたが調査研究委員会が設置され、期待も大きく注目している。市民の声を十分聞いてもらいたい、難題の改善に努めてもらいたい。

市 現在、市では、既存交通の改善をはじめとする交通課題の改善について、市民交通計画の策定をめざしています。今後とも、皆さんの意見を十分に取り入れた計画となるよう取り組んでいきます。

ストップ・ザ・交通事故 60日キャンペーン

12月9日(土)まで

○重点目標

- ・シートベルトおよびチャイルドシートの着用の徹底
- ・高齢者の交通事故防止
- ・夜間(特に薄暮時)における交通事故防止



生涯学習フォーラム in やまぐち

- ◇日時 11月19日(日) 午前10時～午後4時
- ◇場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- ◇内容 基調講演、実践発表、シンポジウムほか
- ◇募集人員 500人程度(先着順)
- ◇入場料 無料
- ◇申し込み 電話またはFAX(〒住所、氏名、電話番号を記入)で、市生涯学習課(☎934-2865 934-2661)へ
- ◇日時 11月26日(日) 午前6時～午後7時

萩往還踏破ウォーキング 参加者募集

- ◇集合場所 市役所玄関前
- ◇コース 市役所→萩駅前までの萩往還(約35キロメートル)
- ◇参加費 550円(保険料込み)
- ◇対象 市内在住、在勤、在学者50人(先着順)
- ◇申し込み 11月15日(水・必着)までに、往復はがき(〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記)で、市体育課(〒753-8650 亀山町2-1 ☎934-2874)へ
- ※在勤、在学の方は、その名称と〒住所も記入してください。

第19回山口市身体障害者レクリエーション大会 参加者募集

- ◇日時 12月3日(日) 午前10時～午後3時30分
- ◇場所 山口県身体障害者福祉センター(八幡馬場)
- ◇競技内容 将棋、オセロ、バドミントン、風船バレー、卓球、カラオケ、舞踊
- ◇対象 身体障害者およびボランティアの人(原則として1人1種目)
- ◇申し込み 11月10日(金)までに、大庭さん(☎934-13088)または大平さん(☎928-5432 928-5436)へ

ルーラル315・376フェスタ

- ◇日時 11月11日(土) 12日(日) 午前9時30分～午後3時
- ◇場所 道の駅「仁保の郷」(仁保中郷)ほか国道315・376号沿線※道の駅は、スタンプラリーの会場の一つです。
- ◇内容 いろいろフェスタ(ルーラル315・376フェスタオープニングセレモニー、朝市、フリーマーケット、松茸ごはん、松茸汁)
- ◇問い合わせ 市農業振興課(☎934-2816)

第171回山口文化バス

- ◇日時 11月20日(月) 午前8時～午後6時
- ◇集合場所 市民会館小ホール前
- ◇講師 郷土史家 内田伸氏
- ◇参加費 大人6800円/身障者・子ども6500円(昼食、入館料等込み)
- ◇募集人員 120人(先着順)
- ◇申し込み 11月2日(木)から午前8時～午後4時30分の間に平山さん(☎928-1927)または古林さん(☎923-1777)へ



おはなし小箱

◇問い合わせ
市立児童図書館
(☎922-4285)



良城小の児童に語りをする
会員の中村さん

市立児童図書館では毎月第2土曜日の午後1時30分～3時30分に「おはなし小箱」が開かれています。これはストーリーテリング(語り)を勉強し、ともに楽しもうという会です。

会員の山本さんに語りの魅力は?とおたずねしたところ、「まるで違う世界にいるような独特の空間が生まれます。私たちは聞き手をそこまで運んでいくお手伝いをしていくようなもの。聞き手と一緒にあってその空間を楽しめることがすばらしいです。」とのこと。

発表の場として小学校などに語りをしに行かれる人たちもいます。



準大賞

日本画「原生の風」

三井喜美子さん

この作品には、私が色として好きな木炭を使いました。下には金ぱくを貼ってます。

日本画の魅力は、色がきれいで、他の絵の具にはない「きらめき」があることです。



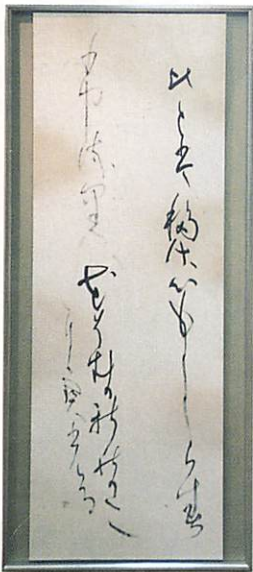
市美展さんぽ

大賞

写真「祭りの日」

前川香代子さん

まつりの時の女の子は「かわいい」というイメージがありますが、この作品では、モノトーンで、大人っぽい妖しげな雰囲気を出しました。光と影に興味があり、黒一色にもさまざまな濃淡があるのがわかるので、モノトーンの写真は特に好きです。



赤れんが賞 書「ひとはいざ」

岡本絢子さん

この作品は、百人一首の中の一つです。書の魅力はすべてを忘れ、集中できること。一筆一筆が勝負なので、満足できる作品は一生できないと思うけれど、挑戦し続けていきたいです。

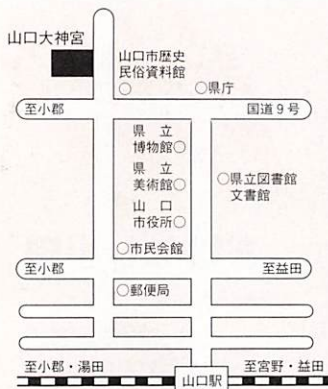


赤れんが賞

洋画「IT時代」

光永頼貞さん

最初、黄色の部分は入れてなかったのですが、暗い感じがするかなと思い、後から入れたんです。結果的にすごくよくなったと思ってます。洋画の魅力は、抽象的な絵が描ける、幅が広いことですね。



創建から480年、今年10月に造り替えが行われました。

この大神宮は「西のお伊勢さま」とも呼ばれ、中国・九州地方から参詣が多かったと言われています。

大内義興は、室町幕府10代将軍足利義植をたすけ京都にのぼり、管領に代わり、都の治安に当たりました。帰山後、義興は、伊勢神宮の勧請を特に許され、永正17年(1520年)、山口大神宮を創建。

やまぐち再発見⑧ (表紙写真説明)
大内義興と大神宮